

やくしまに暮らして

ネイチャーガイド 大野 睦

第八章 暗闇が教えてくれること

■日食



つい先日、日本じゅうのあちこちで空を見上げるひとときがあった。地球から見える太陽の前に月が重なり、その部分が欠けて見え、そしてちょうど太陽の真ん中に重なった時にリングが見える金環日食。そのリングを見ようと、小さな子供からもうまもなく100歳というおばあちゃんまで、その瞬間を待ち侘びていた。こんなにまで一斉に空を見上げた日がかつてあっただろうか。少しずつ太陽に月が重なり、太陽がまるで月のように欠けてゆくのをたくさんの人が見ていたひとときである。

2009年、ここ屋久島では今世紀最も長い皆既日食が見られるということで、多くの観光客がその日に合わせて来島した。日本の陸域で46年ぶりとなったこの時の皆既日食は、奄美大島の北部や屋久島、そ

してトカラ列島など離島ばかりであったため、中でも特にインフラ整備の条件の良い奄美大島や屋久島には日食目当ての観光客が多く来島したのだが、残念ながらこの時の皆既日食はそのほとんどの島で天候条件が悪く、しっかりと太陽を見ることは出来ていない。しかしながら、この日のできごとには私に天変地異という言葉の意味を強く認識させてくれた。

曇り空ではあったが真夏の日中に、少しずつ暗くなっていき、セミが鳴き始め、街灯が点灯し、数分間は夜のように闇に包まれた。いつも当たり前のように太陽が昇れば朝がやってきて、太陽が沈めば夜になり、という日々の営みを日常として身体は自然とそのサイクルで動いているということ、そしてそのような日常のサイクルに変化が生じた瞬間が天変地異なのだと実感したのである。

■月食



2007年8月。日本じゅうで見られた皆既月食。月が地球の影となり隠れてしまうということで、月がその姿を現したとき

にはぼんやりとした色の月で、月が出たばかりの時に見られるその赤さとはまた違っていた。



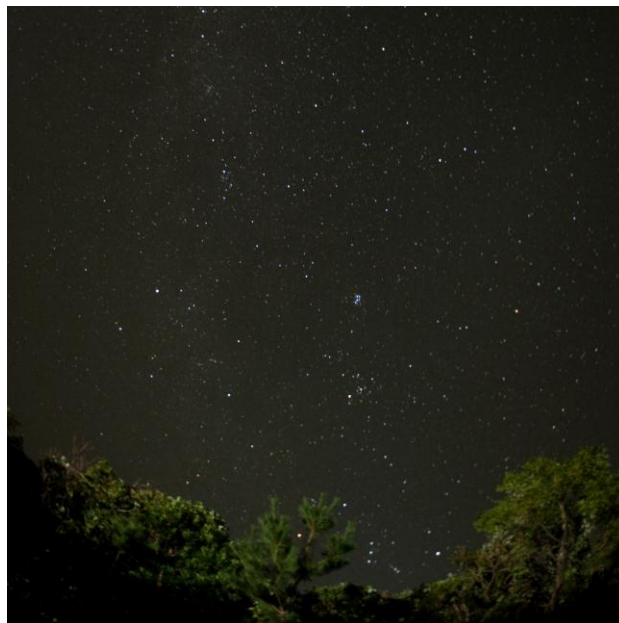
先ほどの写真から約30分後の月。少しずつ陰からそのいつも見る月が見えてきた。この日はやはり月の明るさというものを実感し、ほんの一時間半ほどの天体ショーに感動したのだから、最後、その月が全ての姿を見せてくれた頃にはなんだかホッとしたのを覚えている。



■満天

昼でも夜でも、その空を見るとき私たちは見上げる、という表現をする。実際には地球上に重力で立つ私たちからその宇宙というのは上にも下にも広がっており、流れ

星が必ずしも上から斜め下へと見える訳ではないことで実感できる。

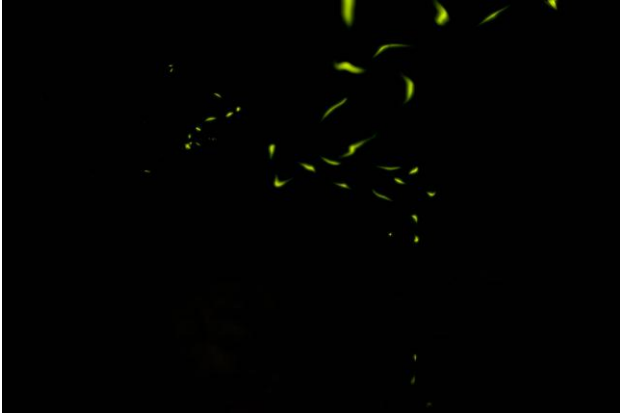


このような満天の星空は、本来どこにいても見られるものである。そして、それが見られないとしたら、月が明るい夜や雲で空が覆われている時なのだが、現実的にこのような満天の星空が見える場所はとても限られており、見られない要因を作っているのは、他でもなくまちの明かりであり、またそのようなものが少ない場所では空気も澄んでいるので、尚更きれいな満天の星空が見られる。

■ホタル

小さい頃、大阪に住んでいたが車で15分くらいのところにホタルを毎年見に行っていた記憶がある。今もそこではホタルが見られるのだろうか。幼少期の記憶として遠い過去になってしまっているが、今私が暮らしている場所は小さいけれど家のすぐ脇に川が流れており、家の周りでもホタル

が飛ぶのが見られるため、その時期はときどき家の全ての電気を消して庭でホタル観賞を楽しんでいる。



また、ウミガメが産卵にやってくる浜でもその中を流れる川があり、そこからやってくるホタルが海辺でも舞う姿が見られたり、島の至るところにある川でホタルが見られる場所があり、梅雨入り前の長閑な風物詩である。

■闇は何もかも隠すのだろうか

一般的に、闇という言葉には、見えているものを見えなくさせるとか、真っ暗で何も見えなくなるように使われているが、屋久島に暮らして、本当の闇はそうではないと感じるようになった。満天の星空も、夜空に走る流れ星も、砂浜の波打ち際やウミガメの甲羅で光る夜光虫も、そしてお月さまも、また夜空に広がる雲も、空を舞うホタルも、真っ暗な闇があるからこそ、その輝く姿を見せてくれていて、街灯がたくさんあるところ、街明かりが消えないところ、透明感のない海や空ではこの姿を見ることは出来ない。

本当の闇が見せてくれるものは本来そこにあるもの、本当の美しさではないだろうか。これが私たちの暮らすこの国の美しさなのではないだろうか。

そしてまた、空を見たりホタルを見たりという時間は自然の中で過ごすこと同様、都会の暮らしの中ではすぐに見られないこともあり、忘れがちなことなのではないだろうか。そんな忘れていたことも思い出させてくれる本当の暗闇の世界。多くの人がそんな世界に向き合う時間を少し取り戻すことが出来たらと、かなりお節介なことをその夜空に願う。

大野 睦 BLOG やくしまに暮らして

<http://mutsumi-ohno.seesaa.net/>